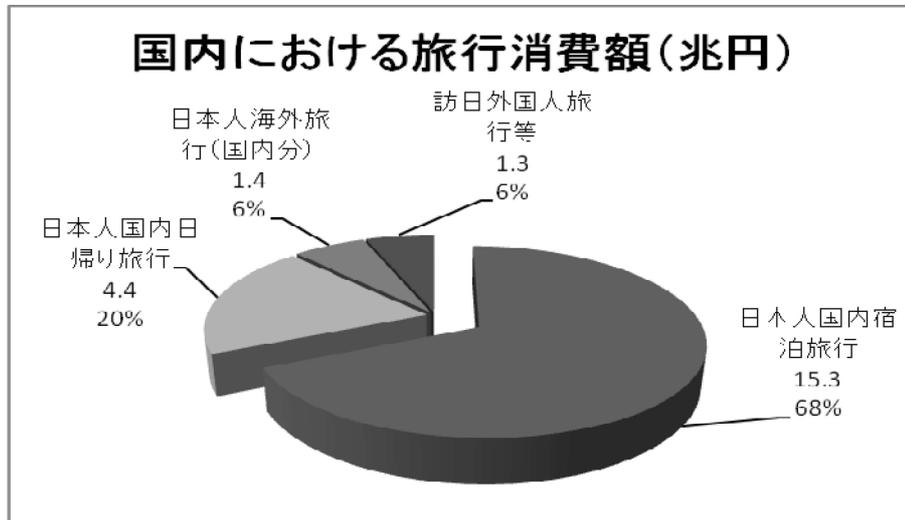


## 観光の経済波及効果

平成24年度における旅行消費による経済効果は以下のとおり

旅行消費額 22.5兆円（波及効果を含めた雇用誘発効果：399万人）



<観光庁 WEBサイト>

生産波及効果 46.7兆円

付加価値誘発効果 23.8兆円

雇用誘発効果 399万人

税収効果

4.1兆円

<全国の「観光地域」の「観光産業事業所」の状況>

- 観光産業事業所数 116.5万事業所（全事業所数に占める割合19.3%）
- 従業員数 826万3千人（全事業所の従業員に占める割合13.1%）
- 観光産業事業所の売上高は86.7兆円（全事業所の売上高に占める割合9.7%）  
→売上高ベースでは観光産業事業所の規模は他の事業所に比較して相対的に小さい。

<観光客による売上高の状況>

- 「観光割合」（主な事業の売上高のうち、観光客による売上高が占める割合）は14.1%。そのうち、観光客比率が過半数を占める事業所の売上高が72.7%。地元で財やサービスを仕入れる割合は22.3%。
- 「観光割合」は旅行業、そのほかの予約サービス（80.2%）、宿泊サービス（58.2%）、文化サービス（38.9%）、旅客輸送サービス（27.9%）、輸送設備 レンタルサービス（14.1%）、スポーツ・娯楽サービス（11.3%）、飲食サービス（10.8%）、小売（6.2%）の順となっている。  
→「観光産業事業所」の種類により、観光客による売上高が占める割合は大きく差が出ている。